

# 高二 古文

## 第十一回 小テスト

出題範囲 古文単語 330 151 から 165

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

# 単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 などかくは仰せらるる。(落窪物語)

- ① 申し上げる      ② ご覧になる      ③ 差し上げる      ④ おっしゃる

2 定めて習ひあることに侍らむ。ちと承らばや。(徒然草)

- ① いただき      ② お聞きし      ③ お話し      ④ お受けし

3 「くらもちの皇子おはしたり」と告ぐ。(竹取物語)

- ① 参上した      ② いらっしゃった      ③ お与えになった      ④ おっしゃった

4 物も聞こし召さず、御遊びなどもなかりけり。(竹取物語)

- ① お命じにならず      ② 差し上げず      ③ 召し上がらず      ④ お聞きにならず

5 宿直人にて侍らむ。(源氏物語)

- ① 申し上げ      ② お受けし      ③ 参上し      ④ お仕えし

5	4	3	2	1
〔	〔	〔	〔	〔
〕	〕	〕	〕	〕

6 いかにも殿ばら、殊勝のことは御覽じとがめずや。(徒然草)

①お見せにならない ②ご存知でない ③お見とがめにならない ④お目にかけない

7 御鷹の失せたるよし奏したまふ時に、帝、ものものたまはせず。(大和物語)

①お聞きにならない ②くださらない ③おっしゃらない ④申し上げない

8 忠岑も禄たまはりなどしけり。(大和物語)

①お取り寄せ ②くださり ③お召しになり ④いただき

9 帝は赤色の御衣奉れり。(源氏物語)

①お試しになつ ②お与えになつ ③お褒めになつ ④お召しになつ

10 帝、なほめでたく思しめさるること、せき止めがたし。(竹取物語)

①お呼び寄せになる ②お聞きになる ③お思いになる ④おっしゃる

10  
〔  
〕

9  
〔  
〕

8  
〔  
〕

7  
〔  
〕

6  
〔  
〕

